



K.UNO NEWS LETTER

Vol. 35

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



昨年12月に婚約された、しょうたろう様とゆりな様

婚約指輪は、映画『美女と野獣』をイメージした『Ballroom』を
結婚指輪は『Junshi MUSUBI -純糸結び-』を選んでいただきました。

「モノ」だけではなく「コト」を大切に。 指輪に込める誓いの儀式『Vows Ring』は かけがえのない思い出

ケイウノでは、二人で誓いの儀式を行う『Vows Ring (バウズリング)』サーブिसを昨年12月から始めました。Vowsとは、「誓い」という意味。「モノ」だけでなく、「体験するコト」を大切にすることで、二人で結婚指輪を「純金糸で結び合う『Junshi MUSUBI -純糸結び-』、伝統技法の象徴を用いた

『純金プレート「2020」刻印』、純金で出来た菱形のピンで輪をつなぐ『Hishime TSUNAGI 菱目繋ぎ』を提供しています。今回は結婚指輪に『Junshi MUSUBI -純糸結び-』をお選びいただいた、しょうたろうさん、ゆりなさんにお話しを伺いました。

婚約指輪でディズニーデザイン ジュエリーを選び アフターサービスの充実にも納得



婚約指輪はダイヤがきらめく『Ballroom』

彼女は映画『美女と野獣』が好きな
ので、ボールルームで踊る「ベル」と
「ビースト」をイメージしたデザイン
「Ballroom」を選びました。

しょうたろうさん：私は以前より、一生に一度のことなので、プロポーズをするなら婚約指輪を贈ろうと決めていました。彼女がディズニーの世界観が大好きなので、婚約指輪をディズニーデザインジュエリーにしたら喜んでもらえるかと思っていました。地元にもケイウノの店舗はありませんが、専用コーナーがある新宿東口店に行ってみることに。初めて来店した時、ケイウノのアドバイザーの方が、とても話しやすかったのが印象的でした。男性が一人でジュエリーショップに来店するのは、勇気が必要ですが安心して話ができ良かったです。

結婚指輪の前に、婚約指輪もケイウノで選んでいただきました。選んだ理由を教えてくださいませんか？

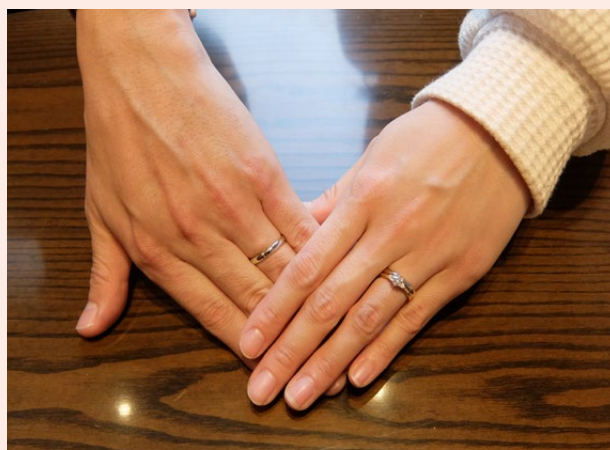
サイズは大きめを選び、後から調整していただけるということでしたので、安心でした。

ゆりな：昨年の12月にプロポーズを受けました。誕生日は6月で、ふたりの記念日は8月なので、まさかサプライズで12月にプロポーズされるとは思いませんでした。箱を見て、クリスマスプレゼントの続きかと…。箱を開けて、婚約指輪だったのでとても驚きました。

しょうたろう：ケイウノのアフターサービスは、選ぶ際の大きなポイントとなりました。この先、指のサイズが変わっても、デザインを変えることなくサイズ変更ができるという、心強かったです。

ゆりな：その後、二人でサイズ調整に来店し、びつたりのサイズに直してもらいました。

『Junshi MUSUBI-純糸結び』を選んだ理由は自分たちの手が加わること



「シンプルでお揃いのデザイン」というお二人の希望が叶った結婚指輪



誓いのセレモニーでは、お二人のリングを一本の“純金糸”で結び合う

「『Junshi MUSUBI-純糸結び』を選んだ理由を教えてください」

しょうたろう：婚約指輪に「Ball room」を選んだ時は、結婚指輪も同じシリーズにしようと考えていました。婚約指輪との相性もいいし、彼女も同じ考えだろうと思っていました。

ゆりな：学生の頃から雑誌「デイズニーフアン」を見て、ケイウノのことは知っていました。オーダーメイドにも憧れていたのですが、自分で決めたデザインが「後から、こうすれ

ば良かった」と後悔することになるかもしれないという迷いがありました。もともと、結婚指輪はシンプルでお揃いのデザインにしようと思っていたので他のシリーズで探すことに。その時、目にしたのが『Junshi MUSUBI-純糸結び』です。自分たちで手を加えられるところに、引き付けられました。

しょうたろう：ケイウノのお店でも、いろいろとサンプルを見せていただき、自分たちに合ったデザインを選びました。

ゆりな：シンプルでありながら、オリジナリティを求めているので、『Junshi

MUSUBI-純糸結び』のコンセプトが響きました。

しょうたろう：指輪の内側には、ハートの中にイニシャルが隠れているデザインと、雪の結晶のマークを入れました。デザイナーさんに、目の前でいろいろと描き起こしていただきました。

ゆりな：サッカー観戦が好きで、サッカーボールもいかなと思いましたが、指輪のマークにしてみると、イメージとは違いました。実際に描き起こしていただけるので、分かりやすかったです。

「なぜ、マークを雪の結晶にしたのですか？」

「**しょうたろう**…実はふたりが付き合ったきっかけが、雪に関係しているからです。私は友達と冬になるとよくスノーボードに行っていて、ある時その仲間に加わったのが彼女でした。」

「**ゆりな**…友達に誘われたんです。地元が一緒で同じ小中学校に通っていましたが、話したことはありませんでした。スノーボードで再会した後、友達関係が3年ほど続き、その後正式に付き合い始めました。描いていた雪の結晶がとても気に入って、二人で一致して決めました。」



思い出を込めたデザインを描き起こしてもらいリングの内側へ

二人で金の糸を“結ぶ”誓いのセレモニー いつまでもその瞬間は心の中に

「『Junshi MUSBUR』純糸結び」は純金の金属線をお客さまご自身で「結ぶ」セレモニーを行う結婚指輪です。セレモニーはいかがでしたか？」

「**しょうたろう**…緊張しました。結んでいる姿を動画に撮っていただいたので、記念になると思います。大切な思い出として、いつまでもその動画を見たいと思います。」

「**ゆりな**…「結んでください」といわれた瞬間にひつぱりましたが、なかなか上手くいかず。金属が硬いことがよくわかりました。」

「**しょうたろう**…すんなりいくと予想していたら、意外と硬かったです。それだけ、硬い結びつきになるだろうと思っています。」

「**ゆりな**…それぞれの指輪に金の糸を結ぶのではなく、1本の糸で2つの



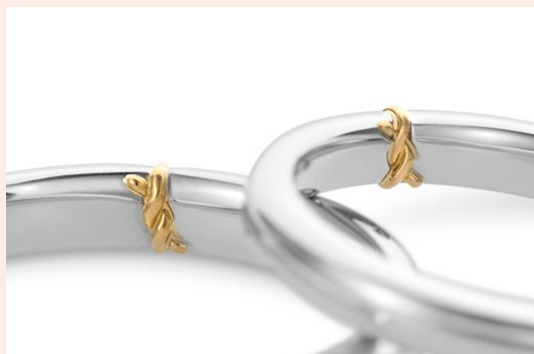
セレモニーで結び合ったリングは、大切な絆の証

指輪が結ばれていくことに感動しました。本当に記念になりました。」

「セレモニー後、職人が一生ほどこけることのないよう仕上げ、なめらかに着けられるよう磨いて完成します。完成品をご覧になっていかがでしたか？」

「**ゆりな**…結び目がとてもキレイでした。なめらかな仕上がりでとても素敵です。内側の結び目が本当に嬉しいです。」

「**しょうたろう**…自分たちで結んだので、結び目にひとときわふたりの想いが詰まっています。」



純金糸の結び目は職人が仕上げ、なめらかな着け心地に

“結び”のセレモニーを大切な思い出に 笑顔あふれる夫婦の物語がスタート

—お二人は、どのような夫婦になりたいですか？

「しようたろう」..4月22日、「良い夫婦の日」に入籍するので、いつまでも良い夫婦でいたいと思います。

「ゆりな」..彼といっしょにいと、素直でいられる自分がいます。素直でいられて、何でも言い合える関係でいたいと思います。

「しようたろう」..お互い、違う家庭環境で暮らしていたので、結婚したら今まで普通だと思っていたことが普通ではないこともあるだろうと思います。いつまでもいい関係で、笑顔があふれる夫婦でいたいです。

純糸がお互いを硬く結び、ほどけることがない幸せな結び目が永遠に輝きます。取材後、おふたりには、誓いを込めた証として専用の『Vows Ring Card』にサインしていただきました(本来セレモニー後に行うものですが、特別に取材後にしていただきました)。日付と二人の筆跡が記されたカードは大切な記念品になります。



セレモニーの後には、誓いを込めた証として専用の『Vows Ring Card』にサイン。カードは一生の記念に。

4月の誕生石 「ダイヤモンド」

宝石の言葉に「永遠の絆」とあるように、婚約指輪の定番として知られるダイヤモンド。婚約だけでなく、家族の絆としてもダイヤモンドの物語は綴られます。

写真は、あるお祖母さまからお母さまへ、そしてご自身へと受け継がれたダイヤモンド。古くから「幸福の木」オリーブの葉と実に見立ててデザインし、お祖母さまから受け継いだ沢山の幸せが実り続けるようお願いをこめました。

